

きたむら じゅん
北村 純さん (山口県下関市出身)

2013 年度 2 次隊 青年海外協力隊

派遣国：ザンビア 職種：体育

2015 年 7 月 5 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

体育の楽しさ 伝えたい

アフリカ南部に位置するザンビア。首都ルサカから東 60 ㎞のニヤングエナという村にある初等学校に体育教員として 2013 年 10 月に配属された。日本でいう小中学生を対象にバレーボールや体操などを教えている。この学校では同僚に体育教員がおらず、体育の授業はほぼ私が担う。

生徒 40 人余りを集めた授業でバレーボールを教える場合、ひもを張って「ネット」を作る。暮らして使った炭の灰でラインを引く。道具は空気



バレーボールの指導の前に、子どもたちとひもを張り「ネット」をつくる
北村さん (右端)

を少し抜いたサッカーボールなどを使う。生徒にまずルールを教え、パスを練習しゲームへ。技術面はできる限り生徒同士で教え合うように促す。体操では、ランニングやストレッチを教える。

体育はこの学校ではカリキュラム上、必修科目に組み込まれているが、同僚教員たちがノウハウを知らない。今後も体育がきちんと継続実施されるよう、同僚教員に呼びかけてペア・ティーチングを実施し、少しでも指導経験を積んでもらえるよう努めてもいる。

現地には水道、電気はない。私も現地の人々と同じように井戸から水をくみ、炭を燃やす。日本では何げなく行っている料理などの風景も、こちらでは手間と時間をかけて向き合う。暮らしは極めてシンプル。現地の人々の「生きる力」をひしひしとを感じるようになった。

任期はあと 3 カ月。「何かを変える」というより「体育の楽しさを伝えたい」という思いが現地に少しでも残れば、と取り組んでいる。